

岩手県企業短期経済観測調査結果（2011年12月）

調査対象数 71社：回答数 70社（製造業 26社、非製造業 44社）回答率 98.6%
回答期間 11月14日～12月14日

1. 業況判断 D.I.

調査対象先の業況判断指数（D.I.）は、製造業、非製造業ともに前回調査比大幅な改善を続け、全産業ベース指数は、2006年12月以来5年ぶりに「良い」超に転じ、1991年8月以来20年ぶりの水準となった（前回 3 今回 14）。
非製造業ベース指数も、1991年8月以来20年ぶりの水準。

これを業種別にやや詳しくみると、鉄鋼や電気機械（製造業・加工）など一部に足踏みを示す業種もみられるものの、幅広い業種で着実に改善が続いており、とくに窯業・土石（製造業・素材）建設（非製造業）建設資材卸（同・卸小売）といった復旧復興関連業種における指数改善が大きく寄与している。

先行きについては、非製造業では足許の活況がいつまで持続するか慎重にみておく先が少なくないため改善は一服するとの見通しにあるが、製造業が素材業種中心に一段と改善が進むことを主因に、全産業ベースでは引続き足許並みの水準が続く見通し（今回 14 来年3月予測 12）。

（「良い」「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	10/9月	12月	11/3月	6月	9月	12月	12/3月 (予測)
製造業	0	3	9	25	22	4(8)	12
素材業種	0	11	12	50	37	14(13)	28
加工業種	0	10	7	12	16	0(16)	5
食料品	20	20	0	50	20	0(60)	0
電気機械	14	15	25	33	16	16(0)	16
非製造業	23	26	27	23	9	25(4)	11
建設	32	25	20	15	26	33(7)	7
卸・小売	30	10	22	25	10	50(30)	30
全産業	15	17	14	24	3	14(0)	12

2. 売上高・収益 (2011年度見通し)

2011年度の売上高は、東日本大震災の影響で、製造業が前年比大幅マイナスとなることを主因に、全産業でも前年を下回る見通し。

2011年度の収益は、非製造業が減収増益となることを主因に、全産業でも大幅増益との見通しにあるが、前回9月調査に比べると増益幅は縮小(製造業の大幅下方修正が主因)。

これを業種別・上下期別に分けて特徴をみると、まず素材業種では、沿岸被災地にある生産設備の復旧に時間を要していることから、売上は上期大幅減のあと下期も引続き大幅減となり、収益面では通年で赤字となる見通し。

加工業種では、震災の影響は、内陸部中心に夏前までにほぼ解消したものの、夏場以降は、円高・海外需要減少の影響から再び減産を余儀なくされている業種がみられることから(とくに電気機械)、下期見通しは売上・収益ともに前回調査比大幅に下方修正。

非製造業では、建設、測量設計といった復興関連業種が増収増益となるほか、卸・小売が減収増益(経常利益率の上昇)となることから、全体でも大幅増益。

上段：前年同期比・%、下段(): 前回調査比修正率・%

	2010年度 (実績)		2011年度 (見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	3.6	欠損	11.6	16.6	6.0	利益	1.1	利益
			(4.9)	(0.4)	(9.1)	(55.7)	(50.8)	(98.2)
素材業種	1.2	欠損	20.4	22.8	18.1	欠損	欠損	利益
			(1.0)	(0.6)	(2.5)	(赤字拡大)	(赤字縮小)	(64.1)
加工業種	4.0	欠損	11.1	16.3	5.3	利益	7.1	利益
			(5.1)	(0.4)	(9.4)	(55.0)	(44.8)	(99.0)
非製造業	1.9	1.9	2.4	0.7	5.0	63.3	23.7倍	1.3
			(2.9)	(3.1)	(2.8)	(25.5)	(54.1)	(11.0)
建設	10.4	31.8	7.3	12.2	4.4	43.4	利益	8.1
			(3.3)	(5.1)	(2.2)	(15.5)	(黒字転化)	(0.0)
卸・小売	0.0	16.6	3.9	2.2	5.5	2.0倍	3.0倍	26.5
			(2.3)	(1.4)	(3.3)	(7.6)	(4.6)	(14.0)
全産業	0.9	87.0	7.3	9.2	5.5	5.5倍	77.1	利益
			(1.2)	(1.3)	(3.4)	(23.0)	(52.3)	(56.1)

3. 設備投資（2011年度計画）

2011年度の設備投資計画は、東日本大震災に伴う復旧対応投資が、製造業中心に幅広い業種で見られていることを主因に、前年を上回る見通し。

もっとも、前年比増加率の推移を、調査時点毎にみると、震災直後に大幅に上方修正されたあと、徐々に下方修正されてきている。

そこで、今回の計画を、前回9月調査結果と比較すると、被災地の復旧進捗につれて、建設関連（建設、窯業・土石）、食料品製造（水産加工）、卸・小売など幅広い業種で、多数の少額投資案件が追加的にみられるものの、加工業種（電気機械等）で、当初予定していた多額の維持更新・能力増強投資を、需要の先行き不透明感もあって、一部次年度以降に先送りする動きがみられたことから、全体として下方修正との姿。

（前年度比の変化）	3月調査	6月調査(震災直後)	9月調査	12月調査
製造業	5.9%	+72.7%	+53.5%	+32.4%
非製造業	32.9%	40.3%	27.2%	22.5%
全産業	13.2%	+35.1%	+28.4%	+15.3%

（ソフトウェア投資を除くベース）

上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2010年度 (実績)	2011年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	20.3	32.4 (13.7)	4.1 (10.9)	72.6 (16.0)
素材業種	2.7	15.5 (52.7)	58.7 (64.8)	89.7 (5.6倍)
加工業種	22.2	33.5 (15.7)	7.5 (8.1)	71.2 (21.7)
非製造業	42.3	22.5 (6.3)	13.1 (20.2)	28.9 (2.9)
建設	2.6倍	49.9 (70.9)	60.3 (2.0倍)	79.3 (28.5)
卸・小売	2.4倍	33.0 (4.6)	21.5 (0.7)	3.2倍 (8.0)
全産業	26.8	15.3 (10.2)	0.1 (5.9)	32.5 (13.5)

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL: 019-624-3622(代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>

(参考1) 各種判断 D.I 指標の推移

回答社数の構成比・%ポイント、()内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 D.I. (全産業ベース)

		10/9月	12月	11/3月	6月	9月	12月	12/3月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超」 「供給超」	38	31	23	15	6	8(6)	7
製商品在庫	「過大超」 「不足超」	9	6	6	8	6	3()	
仕入価格	「上昇」 「下落」	7	10	24	31	24	15(23)	20
販売価格		20	19	15	5	2	2(7)	6

(2) 生産・営業用設備判断 D.I. (「過剰」 - 「不足」)

	10/9月	12月	11/3月	6月	9月	12月	12/3月 (予測)
製 造 業	7	7	5	8	15	15(23)	27
非 製 造 業	0	2	5	8	9	15(9)	13
全 産 業	2	2	5	2	11	16(14)	19

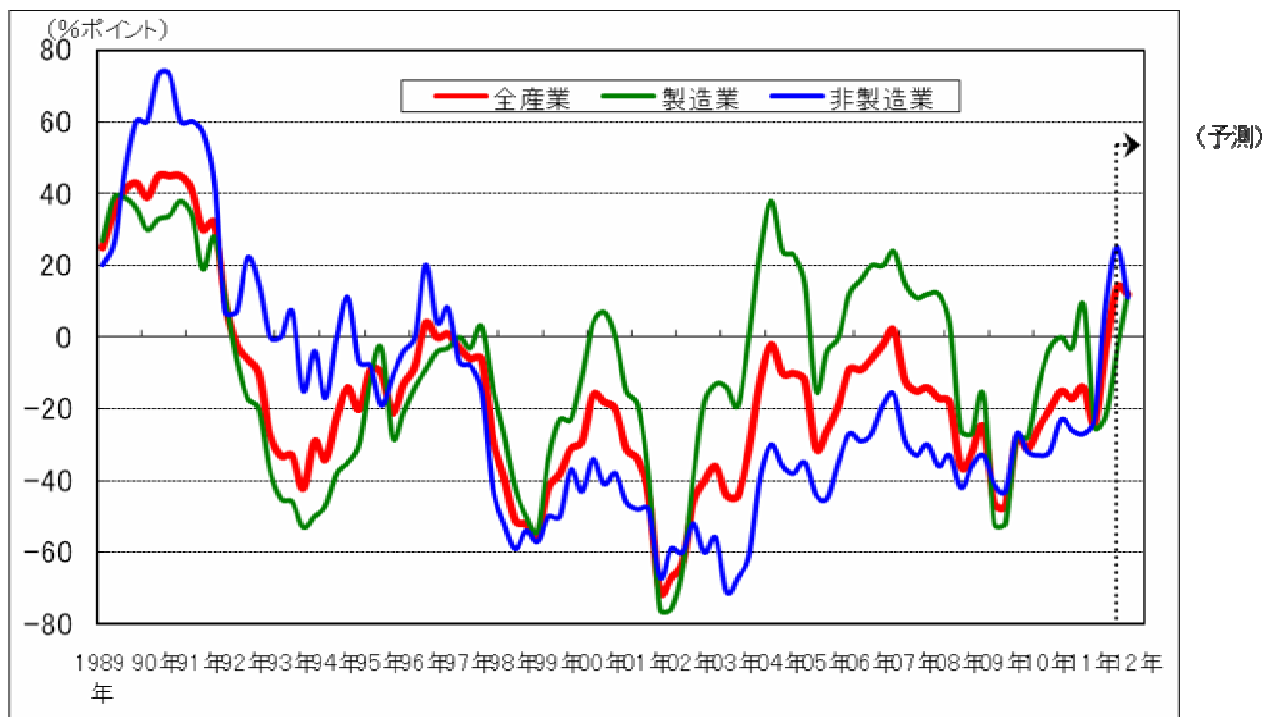
(3) 雇用人員判断 D.I. (「過剰」 - 「不足」)

	10/9月	12月	11/3月	6月	9月	12月	12/3月 (予測)
製 造 業	14	0	9	25	11	11(11)	8
非 製 造 業	15	0	12	12	4	3(7)	4
全 産 業	15	0	11	17	7	3(0)	0

(4) 企業金融関連判断 D.I. (全産業ベース)

		10/9月	12月	11/3月	6月	9月	12月	12/3月 (予測)
資金繰り	「楽」 「苦しい」	25	23	28	23	15	9()	
金融機関 貸出態度	「緩い」 「厳しい」	13	13	10	8	3	3()	
借入金利 水準	「上昇」 「低下」	0	3	2	2	3	0(3)	2

(参考2) 岩手県の業況判断D.I.の推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D.I.の推移 ()内は前回予測。

		10/9月	12月	11/3月	6月	9月	12月	12/3月 (予測)
製造業	岩手	0	3	9	25	22	4(8)	12
	東北	1	2	8	19	4	1(2)	10
	全国	4	4	4	15	5	5(5)	12
非製造業	岩手	23	26	27	23	9	25(4)	11
	東北	16	20	19	22	4	5(11)	4
	全国	13	15	11	20	12	7(14)	14
全産業	岩手	15	17	14	24	3	14(0)	12
	東北	10	13	15	21	4	3(8)	7
	全国	10	11	9	18	9	7(11)	13